



Giacomo Puccini

2024年度 全国共同制作オペラ

ALL JAPAN OPERA CO-PRODUCTION PROJECT 2024

LA BOHEME

井上道義、最愛にして「最後」のオペラ！
盟友・森山開次とともに描く、若き芸術家たちの躍動

井上道義 指揮
森山開次 演出・振付・美術・衣裳

画・森山開次

ラ・ボエーム

作曲：ジャコモ・プッチーニ／台本：ジュゼッペ・ジャコーザ、ルイジ・イッリカ

【全4幕／イタリア語上演／日本語・英語字幕付き／新制作】

Opera in Four Acts - Sung in Italian with Japanese and English Subtitles, New Production

2024年 10月12日【土】

2:00PM開演(1:15PM開場)
上演時間：約2時間50分(休憩2回含む)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

Sat. 12 Oct. 2024, 2:00pm (Doors Open 1:15pm) | Estimated run time: 2 hrs 50 mins including 2 intermissions
Hyogo Performing Arts Center KOBELCO Grand Hall

【ご予約・お問い合わせ】

芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM, 月曜休 ※祝日の場合翌日)

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

兵庫県立
芸術文化センター

芸術の都パリ、ボヘミアンたちの愛と青春——。
「冷たい手を」「私の名はミミ」「私が街を歩けば」…
ブッチーニの名旋律が全編を彩る傑作《ラ・ボエーム》！

Michiyoshi Inoue, Conductor



井上は、歳をとると本来の自分でなくなるような恐怖感に襲われます。「元気な、踊るような、名誉欲のない、生きている人より楽譜の中の作曲家と語り合うことを好む、夢想家の指揮者」である道義がどこか彼方へいってしまい、「【巨匠】とおだてられ、爺臭く動きも鈍く、希望は追憶に入れ替わり、ノスタルジーの中に生きる存在」になることを嫌います。指揮者とは水先案内人であり、天才たちが書き残した作品を、現実の荒ぶる水しぶきとどらえ、時空を超え、コンサートホールというノアの箱舟を山の頂に接岸させる役目だと思っています。知性と愛とユーモアを駆使するには体力が必要です。2023年1月、自分の一生の哲学?を表現した「愛の実態は何か」を描くことが出来たのが、自作のオペラ『降福からの道』でした。嬉しいことに、良い結果と高評価を得ています。しかし、現実の近くにいる人でさえ、そこに描いた真実の愛の在り方を理解しない人が居て、絶望を感じることもあります。そんないつまでも青二才な道義の青春時代の憧れだったオペラ『ラ・ボエーム』を、坐骨神経痛や弱った腎臓のことを忘れ、素晴らしい演出家と歌手ともう一度花火を上げることが出来るなんて、こんな嬉しいこと…いえいえ、こんな辛いことはありません。頑張ります。

井上道義【指揮】

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2007年ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案。2014年4月病に倒れるが、同年10月に復帰を遂げる。近年では、全国共同制作オペラ『フィガロの結婚〜庭師は見た!〜』『ドン・ジョヴァンニ』、大阪国際フェスティバル『バーンスタイン：ミサ』、『井上道義：A Way from Surrender ～降福からの道～』等を、いずれも総監督として率い既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2018年「大阪府文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年NHK交響楽団より「有馬賞」、2023年「第54回サントリー音楽賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。2024年12月に指揮活動の引退を公表している。

2024年末での引退を宣言している指揮者・井上道義が、自身最後となるオペラに選んだのは“最愛のオペラ”と語る《ラ・ボエーム》の新制作。演出には、深い信頼を寄せる舞踊家・演出家の森山開次を指名。幾多のコラボレーションで次々と鮮やかなステージを生み続けてきた名コンビが、日本&海外混成による新進気鋭の歌手陣とともに、創造とイマジネーションあふれる新たな舞台を全国7都市から世界へ発信する。芸術を愛する全ての人に贈る、特別な《ラ・ボエーム》が2024年秋、幕を開ける。

Kaiji Moriyama, Stage director, Choreographer, Designer

森山開次【演出・振付・美術・衣裳】

2005年自ら演出振付出演するソロダンス『KATANA』でニューヨークタイムズ紙に「驚異のダンサー」と評され、2007年ヴェネチア・ビエンナーレ招聘。2013年『曼荼羅の宇宙』で芸術選奨新人賞他三賞受賞。同年文化庁文化交流使。2019年『ドン・ジョヴァンニ』(総監督・指揮：井上道義)でオペラ初演出。2020年新国立劇場バレエ団『竜宮』演出振付美術衣裳。2021年東京2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付。能・雅楽など伝統芸能とのコラボレーション、AIピアノとの共演など実験的なプロジェクトに多数取り組む傍ら、映画・広告・テレビなどジャンルを自在に横断し活動。現代のダンスシーンを牽引するアーティストの一人である。

自由に芸術を志す若者達の集い住む屋根裏部屋に、私もしばらく居候させてもらう。若き詩人の甘美な言葉に揺られて、破天荒な画家の絵の具のしぶきとなり、人の理を洞察しては、哲学者と古書の束にうずくまる。そして、陽気な音楽家と共に踊りあかす日々を送るのだ。冬のパリ、貧しさで寒さに身を震わせながらも、暗い屋根裏部屋に灯された小さな愛。真っ赤な花のごとく燃えては、春を迎える前に朽ちる絶望。ブッチーニの至極の音楽にのせて、彼らの歓びと苦悩の日常の風景を鮮明に描く。私は舞踊家として芸術家たちと戯れ、心情を身体から湧き出させたい。井上道義さんの最後で最愛のオペラ『ラ・ボエーム』に、私の芸術の灯火を捧げて取り組む。時を繋いだ芸術の夢を追いかけている。



あらすじ STORY

第1幕

1830年頃のパリ。どある安アパートの屋根裏部屋を舞台に、4人の芸術家の卵たちが青春を謳歌していた。詩人のロドルフォが部屋にひとりしていると、階下に住むお針子のミカがろうそくの火を借りにやって来て…。

第2幕

今夜はクリスマスイブ。にぎわうカフェ・モミュスで、画家マルチェッロとかつて恋人だったムゼッタが再会する。盛り上がった若者たちはムゼッタのパトロンに支払いを押し付けて笑いながら店を去っていった。

第3幕

時が流れ2月、ロドルフォは結核を患っているミミを思い別れようと決意。一方のマルチェッロは浮気の多いムゼッタと口論になる。

第4幕

しばらく時が経ってもミミのことを忘れられずにいるロドルフォ。そこへ衰弱したミミを連れてムゼッタが現れる。ミミは、ロドルフォのもとで最期を迎えたいとやって来たのだった。

(オリジナルの設定に基づく)

キャスト・関連図



STAFF

合唱指揮: 辻 博之 Hiroyuki Tsuji, Chorus master
照明: 足立 恒 Hisashi Adachi, Lighting designer
映像: 山田晋平 Shimpei Yamada, Video designer
美術コーディネート: 中村友美 Tomomi Nakamura, Scenery coordinator
衣裳コーディネート: 林 なつ子, 朝野なつ美 Natsuko Hayashi, Natsumi Asano, Costume coordinators
メイクコーディネート: 石原ももこ Momoko Ishihara, Make-up coordinator
音響: 石丸耕一(東京芸術劇場) Koichi Ishimaru, Sound designer
副指揮: 佐藤正浩、桑原裕介、瀬山智博 Masahiro Sato, Yusuke Kumehara, Tomohiro Seyama, Assistant conductors
コレペティア: 服部容子 Yoko Hattori, Korrepetitor
演出助手: 奥村啓吾、彌六 Keigo Okumura, Miroku, Assistant directors
振付助手: 美木マサオ Masao Miki, Assistant choreographer
舞台監督: 酒井 健 Takeshi Sakai, Stage manager
プロダクションマネジャー: 關 秀哉 Hideya Seki, Production manager

Giacomo Puccini LA BOHEME

プッチーニ没後100年

全国共同制作オペラ

全4幕/イタリア語上演/日本語・英語字幕付き
新制作

ラ・ボエーム

指揮——井上道義
演出・振付——森山開次
美術・衣裳

全国共同制作オペラシリーズとは

全国の劇場・音楽堂、芸術団体等が連携し、単館では成しえない、独創的かつ高いレベルのオペラを新演出で制作するプロジェクト。2009年度から開始し、近年では野田秀樹演出のモーツァルト『フィガロの結婚～庭師は見た!～』（2015年度/全国10都市13公演、2020年度/3都市3公演）、森山開次演出の『ドン・ジョヴァンニ』（2018年度/3都市4公演）、野村萬斎演出の『こうもり』（2023年度/3都市3公演）など実績を積んでいる。

全国公演スケジュール

各2:00PM開演

9月21日[土]、23日[月・休]

9月29日[日]

10月6日[日]

10月12日[土]

10月19日[土]

10月26日[土]

11月2日[土]

東京芸術劇場コンサートホール(2公演)

名取市文化会館大ホール

ロームシアター京都メインホール

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

熊本県立劇場演劇ホール

金沢歌劇座

ミュゼ川崎シンフォニーホール

共同制作:

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、公益財団法人名取市文化振興財団
ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、兵庫県立芸術文化センター
公益財団法人 熊本県立劇場、公益財団法人金沢芸術創造財団
ミュゼ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
公益財団法人 読売日本交響楽団、公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団
京都市交響楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、公益財団法人 九州交響楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢(公益財団法人石川県音楽文化振興事業団)
公益財団法人 東京交響楽団

全国共同制作オペラ《ラ・ボエーム》特設サイト

<https://la-boheme.2024.jp>



2024年 **10月12日**[土]

開演 **2:00PM**(開場**1:15PM**)

上演時間:約2時間50分(休憩2回含む)

兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

A 13,000円 | B 10,000円 | C 8,000円 | D 6,000円 | E 3,000円(税込/全席指定)

ご予約・
お問い合わせ

芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255

10:00AM～5:00PM
月曜休 ※祝日の場合翌日

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

一般発売 **4月21日[日]**

芸術文化センター会員
先行予約開始

4月18日[木]

チケットぴあ
ローソンチケット
イープラス

<https://pia.jp/t/>
<https://l-tike.com>
<https://eplus.jp>

※プレイガイドへのお取扱いは
各プレイガイドにお問い合わせください

直接購入

芸術文化センター 2階総合カウンター

[4/23(火)より、残席がある場合のみ]

ご注意 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合があります。最終の出演者は当日発表とさせていただきます。※開演時間に遅れますと、長時間入場をお待ちいただくことや、立ち見となる場合がございます。※場内での写真撮影、録音、録画、携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。※本公演の字幕は舞台の中央に設置されます。※一部で舞台や字幕が見づらい席がでる場合があります。あらかじめご了承ください。※公演中止の場合を除き、他の席種への変更及び払い戻しはいたしません。

主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へ
ご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

